

報道関係者各位

 不動産の達人
株式会社さくら事務所

不動産コンサルタント 長嶋 修が考察！

2025年 不動産市場はどうなる?! 「大吉」の不動産とは

業界初の個人向け総合不動産コンサルティング・ホームインスペクション（住宅診断）、マンション管理組
合向けコンサルティングを行う“不動産の達人 株式会社さくら事務所”（東京都渋谷区／社長：大西倫加）
は、弊社の専門家が不動産・建築ニュースや市況を解説するオピニオンサイトにて、**弊社会長の長嶋 修が
2025年の不動産市場を考察した記事**を公開いたしました。詳しくは下記コラムをご覧ください、本件に関す
る取材やご質問がございましたらお気軽にお問い合わせください。

長嶋 修が考察する2025年の不動産市場

<https://www.sakurajimusyo.com/opinion/market/1144/>

■2025年不動産市場はどうなる？

2025年も、引き続き好立地の不動産価格は高騰していくでしょう。その一方で、新築マンションの供給数は減少し、都市部の不動産価格は著しく高騰していることから、2025年は中古住宅や比較的手が届きやすく、資産価値も維持されやすい「セカンドベスト」のエリアに需要が向いていくことになると推測します。

- 中古シフトが加速
- 「セカンドベスト」のエリアの需要拡大
- 激動の世界の中で相対的に日本の価値が浮き彫りに

■2024年不動産市場の振り返り

2024年、年明けから日経平均株価はぐんぐん上がり、3月に4万円を超え、7月には一時4万2,000円を超えました。マンション価格も、日経平均株価に連動して上昇基調にあります。が、株価に連動するのは一部エリアの不動産のみ。一戸建てについては、全体的に失速感が見られます。

- 株価は一時4万円台に
- 強い不動産はさらに上がり、弱い不動産には陰りが見られ始めた
- 日本銀行は3月にマイナス金利解除。変動金利にも上昇傾向が見られ始めたことが格差拡大を助長

2025年 **大吉** の不動産は？

都心・駅前・駅近の不動産は引き続き高い需要を維持し続けるでしょう。東京だけでなく、**大阪や福岡、名古屋、京都**などの都市部も良いと思います。**再開発エリアや半導体企業が進出しているエリア**も注目です。

／ 詳細はコラムで解説 ／

2025年不動産は大暴落するのか？ 金利上昇・2025年問題・新築供給減の影響は 

さくら事務所について

株式会社さくら事務所（東京都渋谷区／社長：大西倫加）は「人と不動産のより幸せな関係を追求し、豊かで美しい社会を次世代に手渡すこと」を理念として活動する、業界初の個人向け総合不動産コンサルティング企業です。1999年、不動産コンサルタント長嶋修が設立。第三者性を堅持した立場から、利害にとらわれない住宅診断（ホームインスペクション）やマンション管理組合向けコンサルティング、不動産購入に関する様々なアドバイスをを行う「不動産の達人サービス」を提供、69,000組を超える実績を持っています。

株式会社さくら事務所

広報室：堤



東京都渋谷区桜丘町29-24 桜丘リージェンシー101



press@sakurajimusyo.com



03-6455-0726



FAX 03-6455-0022

<https://www.sakurajimusyo.com/>